

◆朝日ヶ丘集会所【平成29年4月22日(土) 参加者数29人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	<p>東山町の傾斜地にマンションが建設予定となっている。芦屋市の価値は緑が多く静かに暮らせるまちであることだと思う。なぜ市は工事を認めたのか。建設について住民の意見を聞いてもらえる機会を設けてほしい。</p> <p>また、工事車両の通行量が多く、登下校時に非常に危ない。</p>	<p>環境が変わることについて、抵抗があることは分かります。できるだけ住民目線で行政を進めていきたいと考えています。また、子どもの通学時の安全について考えるように指導していきます。</p>
2	<p>森林整備計画についてパブコメを挙げたが、市街地の森林は計画では守れないという。自然を守るために市の予算を使ってほしい。</p>	
3	<p>景観を守るという観点からも、マンション建設計画の策定段階で、法規制などを行ったり、地域住民への情報提供を行えるのではないかと。景観アドバイザー会議も、外部有識者の意見の傾聴のみであり、景観について地域住民の意見を吸い上げる場ではない。</p>	<p>良好な住環境を守るための法規制は行っていますが、地区計画のない地域については既存の法・条例で定めがなければマンション建設も可能です。地区計画も、行政が一方的に決められるものではなく、地域の皆さまが発端となつての策定が可能ですので、一緒に協議できればと思います。</p>
4	<p>「市立幼稚園・保育所のあり方」における予算資料等を市のトップページで公開してほしい。また、ラスパイレス指数を下げ、人件費を抑制し、浮いたお金を3年保育導入の費用に回してほしい。</p>	<p>→「市立幼稚園・保育所のあり方」に係る予算等の資料は、芦屋市のホームページで公開しています。人件費の抑制についてはその必要性等を踏まえ、別途検討します。</p>
5	<p>幼稚園に3歳児保育の導入、預かり保育の延長を検討してほしい。国からの提案があったにも関わらず、なぜ芦屋市では対応しないのか。</p>	<p>→3歳児保育については、学校教育審議会の答申において、「市立幼稚園での3年保育についてはなお慎重に考えるべき」との答申をいただいていること、また、子育て未来応援プラン「あしや」においても、「認定こども園を整備し、3歳児の教育ニーズにも対応していきます。」と示していることから、現在のところ、3年保育の実施は考えていません。</p> <p>預かり保育の時間延長については、整理すべき課題が多くあり、現在のところ実施までには至っていません。</p>
6	<p>幼稚園に給食を導入してはどうか。</p>	<p>→手作りのお弁当の良さを大切にしたいと考えているため、現在のところ給食の導入は考えていません。</p>

◆朝日ヶ丘集会所【平成29年4月22日(土) 参加者数29人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
7	現状の公立保育所・幼稚園を認定こども園にしたり統廃合しないしてほしい。認定こども園の規模と場所を見直すべきである。	非常にバランスのとれたプランであり、幼稚園、保育所、認定こども園など、どの方向にも配慮されていると思います。
8	保育所や認定こども園の民間委託を行う場合は、事前に契約内容を公開するべきである。	→今回実施する民間移管では、保護者の方のご意見なども反映できるところは反映することで、よりよい内容とし、公募を実施する予定です。
9	JR芦屋駅南の再開発地区に、駅近の保育施設を設けてはどうか。	→現時点では、今回発表した計画に基づき、整備を進めます。
10	山手地区の待機児童解消策として、朝日ヶ丘幼稚園の空き教室に小規模保育所を併設してはどうか。	→幼稚園の空き教室を利用した小規模保育事業は考えていません。幼稚園は3歳以上の児童の利用を前提とした施設であることから、低年齢児の利用には基本的に適さない施設であることや、児童が3歳となった際の行先の確保が現時点では行えていないためです。なお、閉園後の朝日ヶ丘幼稚園跡地に、駐車場、スクールゾーン等の課題解決を検討し、私立の認定こども園を誘致します。
11	新婚世帯が芦屋で住むにあたり、家賃補助や新婚世帯への手当等を検討してほしい。	住みよいまち、美しいまちにすると地価が上昇し家賃に影響するということがあるため、若い世代には住みにくいかと思います。総合的に考えていきたいと思っています。 →新婚家庭や若者への住宅援助制度は、現在策定中の住宅マスタープランで、住宅のストックを効果的に活用した移住・定住施策の方向性を示す中で検討していきます。
12	高塚山の宅地造成工事のため、朝にかなりの台数のトラックが岩園町のいかりスーパー付近を走っている。小学校の通学路にもあたり非常に危険なので、規制してほしい。	子どもの朝の通学時間帯におけるダンプカーの通行は、行政から指導します。 →大型工事車両による搬入は午前9時以降になりますので、朝の通学時間帯の通行はありません。通行に対する規制を行うことはできませんが、近隣への工事説明、安全への配慮について、開発業者に依頼します。